

北広島市地域公共交通活性化協議会 平成22年3月18日設置



概要

北広島市は、高齢化が急速に進む中、高齢者に優しい公共交通の確保がますます重要になってきているとともに、平成22年10月から一部路線バスの廃止が決定されていることもあって、拡大する交通空白地域の解消が喫緊の課題となっている。このため、高齢者や公共交通の便が十分ではない地域住民の足の確保を目的とした市内公共交通体系の再編、コミュニティバスや乗合タクシー等の導入に向けた調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR千歳線 (北広島駅)
- ・ジェイ・アール北海道バス (株) (市内1路線、市内経由2路線)
- ・北海道中央バス (株) (市内4路線、市内経由3路線)

地域公共交通の課題

- ・高齢者等、交通弱者の移動の利便性の確保
- ・交通空白地域の存在
- ・市内5地区における各地区間交通の充実化

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査 (アンケート調査)
- ・コミュニティバスの試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想 (予定)

- ・市内公共交通体系の再編
- ・コミュニティバスや乗合タクシー等の導入



北広島市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

協議会開催状況

7回開催

分科会等開催状況

作業部会 : 3回開催

開催状況は平成22年度中のもの(開催予定を含む)

主な調査の実施内容

現況交通実態調査

・JR北広島駅を利用している通勤・通学者(500人)を対象に、交通実態の把握を目的としたアンケート調査(H22.12.7~12.15 回収率約43%)及び市街地地区外(交通空白地域含む)在住の15歳以上の全住民(1,404人)を対象に、乗合タクシーの利用意向等のアンケート調査を実施(H22.12.7~12.15 回収率約39%)

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・市街地地区在住の無作為に抽出した15歳以上の住民(3,019人)を対象に、路線バスの利用意向等のアンケート調査を実施(H22.12.7~12.15 回収率約47%)

コミュニティバスの試験運行

試験運行の調査は見送り

その他

・学識経験者(札幌大学大学院千葉教授)を講師に迎え、地域公共交通に関するシンポジウムを開催(H23.2月)

予定している主な連携計画の内容

市内公共交通体系の再編

(実施主体:北広島市、北海道中央バス(株)、ジェイ・アール北海道バス(株)、市内タクシー事業者等、実施時期:H23~)既存バスの路線維持・確保を図るため、デマンド交通等の持続性のある市内公共交通体系の再編

コミュニティバス・乗合タクシーの導入

(実施主体:北広島市、北海道中央バス(株)、ジェイ・アール北海道バス(株)、市内タクシー事業者等、実施時期:H23~)交通空白地域や不便地域における高齢者や交通弱者の移動の利便性を確保するため、デマンド交通等の導入を検討

自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において作業部会の開催も行いながら合意形成を図っている。

二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。
調査結果のとりまとめ・分析を迅速に進め、その結果を踏まえて明らかになった課題やニーズ等を十分に分析の上、連携計画を策定されたい。
・コミュニティバスや乗合タクシーの導入に際しては、既存の路線バスとの役割分担や乗継ぎ円滑化にも留意しつつ、更に具体的なサービス内容について検討されたい。